

Unit3 My Future Job

自分の職業についてビジョンを持とう

本校の育成する資質・能力

コミュニケーション力

主体性

- 1 日時 令和3年7月1日(木) 14:00~14:50
- 2 学年・学級 2年3組(男子18名 女子14名 計32名)
- 3 場所 2年3組教室(北校舎2階)
- 4 教材について

(1) 単元観

本単元は中学校学習指導要領(平成29年告示)第2章第9節外国語第2の1目標(3)話すこと[やり取り]ウ「社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。」を受けて設定した単元である。

この目標での「社会的な話題」とは、社会で起こっている出来事や問題に関わる話題のことであり、広く国内外で起こっている事象で、多様な考え方ができるものを取り上げる。本単元では、これまで学んできた職業学習についての話題から、AIなどのテクノロジーと仕事に関わる社会の変化の様子などを通して、自分自身の将来の職業について考えたことを取り上げる。

言語活動として現代社会におけるAI、ロボットなどとさまざまな産業の関わりも踏まえながら、自分が将来どのように働きたいか述べ合うことを設定する。体験学習やニュースなど、聞いたり読んだりした事に基づいたやりとりを継続的に行い、生徒がお互いに質問したり、個人またはグループで考えや感想、理由などを述べ合うことをねらいとする。

言語材料として、to不定詞を扱っている。to不定詞の用法や構造については、中学校3年間で段階的に復習の機会を設けている。小学校第5学年及び第6学年外国語においては、動詞がwantである時、目的語として、名詞だけではなく、名詞的扱いとなるto不定詞を含む文も指導されてきている。中学校の早い段階で、こうした小学校で学んだ表現も取り上げ、音声で十分に慣れ親しんだto不定詞を身につけさせていくことで、中学校3学年での自分の立場を明らかにして行うディベートなど、発展的な内容につなげる。

(2) 生徒観(調査結果等から見る課題)

6月に実施した標準学力調査の結果では、英語大問12「自分の出身地を紹介する英作文」問題において「テーマにそって3文以上で書かれている」正答率が57.9%と、全国平均正答率の34.5%を大きく上回っている。また、「与えられた情報に基づいて書く英作文」問題でも50.5%と高い。テーマや一定の情報を与えられた際に、自分の考えたことや理由についてしっかりとらえ、英語で作文する能力が五割程度の生徒にはあると考えることができる。目標値を下回った大問5「聞くこと」「対話の内容を聞き取り、資料をもとに英語で答えることができる」では、22.6%の正答率に留まった。

大問番号	出題のねらい	校内正答率	目標値	全国平均正答率
5	対話の内容を聞き取り、資料をもとに英語で答えることができる。	22.6%	30.0%	14.2%
11	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる。	31.1%	35.0%	29.4%
12	自分の出身地について、まとまった内容で説明する文を書き表すことができる。 (テーマにそって、3文以上で書かれていることを正答とする)	57.9%	40.0%	34.5%

このことから、まとまった英文で説明したり、与えられたテーマに沿って身のまわりの事柄を英文に

書き表す技能は高い。反面、聞いたり読んだりした事柄に対して自分の意見を持っていたとしても、述べ合う活動の中でお互いに反応しあったり、簡単な英語で適切に話したりする力が弱いと考えられる。

(3) 指導観（指導改善のポイント）

生徒観をふまえて、次の3点について留意し、工夫して指導を行う。

- ① 学習意欲を高めるために、生徒が目的や言語の使用場面を意識して取り組める言語活動を設定していく。教科書で読んだAIの進出と、これからの社会をテーマにしながら、自分の考えたことや感じたこと、将来どのように働きたいかを述べ合う。
- ② ある程度まとまりのある英文を話すという活動はあまり行ってきていないため、考えたことや感じたことなど、簡単な語句や文を用いて述べ合う活動を継続して行う。対話を続けるために、自分の考えをもつことと、話す語彙・技能が必要である。その手立てとして、様々なテーマについて話す前にキーワードをメモし、「考えや気持ちを述べる」「関連する文を加える」といった言語活動を継続していく。また、付け足した内容をその場で示しながら、共有する。
- ③ カリキュラム・マネジメントと生徒指導の3機能の観点から、総合的な学習の時間に学習している現代社会の課題についての調査学習を関連付ける。昨今のコロナウイルス感染症が、私たちの働き方や社会のあり方にも多大な影響を及ぼしたことも踏まえ、単元の終末に、「理想とする働き方」について述べ合う。

以上の3点を工夫して指導を行っていくことで、聞いたり読んだりした事柄に対してどのように感じたか、どのように考えたかの理由や原因などについてできるようにする。

単元の目標

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
不定詞の副詞的用法・形容詞的用法・It is…to doの用法が使われた英文を理解している。 現代の職業の変化について聞いたり読んだりしたことについて、自分の感想や思いなどを、不定詞の副詞的用法・形容詞的用法・It is…to doの簡単な文などを用いて述べ合う技能を身に付けている。	現代社会の変化に応じて、現代の職業の変化について聞いたり読んだりして、自分の感想や思いなどを、簡単な語句や文を用いて述べ合っている。	現代社会の変化に応じて、現代の職業の変化について聞いたり読んだりして、自分の感想や思いなどを、簡単な語句や文を用いて述べ合おうとしている。

単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本校が定めた 資質・能力	コミュニケーション力		主体性
評価規準	知不定詞（名詞的・副詞的用法・形容詞的用法・〈It is … +to〉）を用いた文の形・意味・用法を理解している。	思うれしい・悲しいなどの気持ちとその原因を理解したり伝えたりするために、感情の原因について、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。	主うれしい・悲しいなどの気持ちとその原因を理解したり伝えたりするために、感情の原因について、簡単な語句や文を用いて、伝え合おうとしている。

	<p>技不定詞などの理解をもとに、職業についての説明などで、内容を理解したり、言葉に情報を加えて説明したりする技能を身につけている。</p>	<p>表職業についてよく知るために、仕事の内容などについて書かれた文章の概要を捉え、簡単な語句や文を用いて情報を加えて説明している。</p> <p>思将来の社会を想像し、自分の将来像や夢について考えるために、すべきことなどについて、簡単な語句や文を用いて述べ合っている。</p>	<p>主これからの社会を想像し、自分の将来像や夢について考えるために、すべきことなどについて、簡単な語句や文を用いて、理解したり伝えたりしようとしている。</p>
--	---	---	--

指導と評価の計画

次	学習内容	評 価	
		観 点	評価規準（評価方法）
1	<p>○総合的な学習の時間とのつながり Unit 2 Let's Listen の インタビューを聞いて、要点をとらえる。</p> <p>○教師が Show and Tell を行い、終末の活動のイメージを持たせる。</p> <p>○インターネットの記事等をもとに、これからの仕事の変化について考える。 課題の設定</p> <p>○不定詞（名詞的用法）を用いた文の形・意味・用法を理解する。</p>	知	不定詞（名詞的用法）を用いた文の形・意味・用法を理解している。 (後日ペーパーテスト)
2 本時	<p>○ロボットや AI が人間に逆らったり、仕事を奪ったりするような事柄について考えたことや感じたことの原因について伝え合う活動を行う。</p> <p>A: What do you feel about the picture? B: I feel scary to see the picture. A: Why? B: Because the robots look strong.</p> <p>○教科書の本文を通して、不定詞（原因を表す副詞的用法）を用いた文の形・意味・用法を理解する。 整理・分析</p>	表 知	<p>うれしい・悲しいなどの気持ちとその原因を理解したり伝えたりするために、感情の原因について、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。(活動観察)</p> <p>不定詞（原因を表す副詞的用法）を用いた文の形・意味・用法を理解している。 (後日ペーパーテスト)</p>
3	<p>○不定詞（形容詞的用法）を用いた文の形・意味・用法を理解する。</p> <p>○自分の将来の夢や、そのためにしていることについて対話活動を行う。 まとめ・創造・表現 振り返り</p>	主	これからの社会を想像し、自分の将来像や夢について考えるために、すべきことなどについて、簡単な語句や文を用いて、理解したり伝えたりしようとしている。(ワークシート)

4	○不定詞〈It is …+to〉の文の形・意味・用法を理解する。 ○これまでの学習から to 不定詞の表現はどのような場面で活用できるかについて考える。 課題の設定	知	不定詞〈It is …+to〉の文の形・意味・用法を理解している。 (後日ペーパーテスト)
5	○自分の体験や職業についての学習を伝えるために、職業体験について、事実を整理してメモをとり、たずね合う活動を行う。		
6	○前時に聞き取った考えや、相手の考えについて事実や意見を整理し、他の生徒に対して紹介合う活動を行う。 整理・分析	思	将来の社会を想像し、自分の将来像や夢について考えるために、すべきことなどについて、簡単な語句や文を用いて述べ合っている。(ワークシート)
7	○〈It is …+to〉, to 不定詞などの理解や前時までのメモをもとに、将来の仕事に大切だと思うことなどについて、すべきことなどを整理し、伝える資料を作る活動を行う。 (Google スライド)	技	不定詞などの理解をもとに、職業についての説明で、内容を理解したり、言葉に情報を加えて説明したりする技能を身につけている。(後日ペーパーテスト)
8	○〈It is …+to〉, to 不定詞などの理解やメモをもとに、将来の仕事に大切だと思うことなどについて、すべきことなどを整理し、伝える練習や工夫を行う。 (Google スライド) まとめ・創造・表現	思	将来の社会を想像し、自分の将来像や夢について考えるために、すべきことなどについて、簡単な語句や文を用いて述べ合っている。(ワークシート)
9	○職業に関する学習をもとに、将来の社会の在り方、仕事のあり方などについての意見を Show and Tell する活動を行う。 振り返り I want to work in a hospital in the future. We need to think about our jobs. In 2030, we will work with robots. I think that it is good to work with robots if we can control them because they can work for a long time.	主	自分の体験や考え・社会の変化を伝えるために、職業体験について、事実や意見を整理して、たずね合ったり伝えたりしようとしている。(観察)

本時の学習

(1) 本時の目標 見たり聞いたりしたことについて、簡単な語句や分を用いて伝え合うことができる。

(2) 観点別評価規準

C	B	A
感情について伝えようとしている。 I am happy. I was sad.	うれしい・悲しいなどの気持ちとその原因を理解したり伝えたりするために、感情の原因について、不定詞の副詞的用法を用いて、伝え合おうとしている。 I am glad to see the news. I am not happy to watch the movie.	うれしい・悲しいなどの気持ちとその原因を理解したり伝えたりするために、感情の原因について、不定詞の副詞的用法などを用いて、より詳しく伝え合おうとしている。 I was surprised to know the news. Someday I want to use robots, too.

(3) 準備物 ワークシート、足跡シート、iPad 等視覚提示装置

(4) 学習の展開

	学習活動	◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて	評価規準 (評価方法)
導入【発見】 8分	① Greetings ② AI やロボットに関する映画の一場面の写真を提示し、それらについて感想を言い合う。 ③ めあての提示	◇一言で感想を言う。 ・Robots are cool. ・Oh, it's dangerous. ◆to を黒板に貼り、「～するために」「～して」の意味と合わせて提示する。	
本時のめあて 人間とAIの世界に対して、目にして、想像し、感じたことを、伝え合えるようになるろう。			
展開①【思考】 12分	④ ペア活動 不定詞の副詞的用法について復習を行う。 ・I went home early to see the movie. ⑤ ペア活動 ・I am happy to know… ・I am sad to see… ・I am worry to see… 原因を表す不定詞の副詞的用法について、ペアで練習を行う。	◇ペアを組ませる際に指示を与え、いろいろなペアで活動を行う。 ◇Q&A 形式でワークシートの例文を話させる。 ◆ペアに声かけをさせ、取り組ませる。 ◆ヒントカードをワークシート裏に示して読みの補助にする。	
展開②【深化】 25分	⑥ ②で提示した場面写真を再度提示し、to を使った感想を述べ合わせる。 ・I am scared to see the picture. 【共感的人間関係】 ⑦ ドラえもんを目指したコミュニケーションロボットの動画(3分程度)を提示し、感想を述べ合わせる。【共感的人間関係】 A: What do you feel about the picture? B: I am happy to see the movie. A: Why? B: Because robots for communication are good. I want to see Doraemon.	◇自分の気持ちをキーワードとして一語、メモに書き出させ、話し合わせる。 ◆机間指導でヒントの提示を行う。 △I'm Scary→I'm scared. ◆感情を表す形容詞を示した前時のワークシートを参考にさせる。 ◇Why?-Because…の文や want to…など、既習の会話表現を示し、お互いに相手の意見が出るまで対話を続けさせる。 ◇相手の感想を一言でメモさせる。 ◇生徒を当てて板書を撮影し、モニターに示す。	表うれしい・悲しいなどの気持ちとその原因を理解したり伝えたりするために、感情の原因について、簡単な語句や文を用いて、伝え合おうとしている。 (観察)
終末【まとめ・振り返り】 5分	⑧ ワークシートに振り返りを記入させる。 ⑨ 次時の予告を行う。	◇見たり聞いたりしたことなどの原因によって生じた感情を、to を使って表現できることを押さえ、自分の意見を話す活動につなげる。	
○生徒の振り返り例 他の人の行動や見聞きしたことから「自分はこう思った」と言えるので、I was happy to know the news. のように、最近の出来事や、それともなう自分の気持ちを表現するときに使えと思った。			

